



南部小だより

No.4 令和7年7月18日



※タイトルのキャラクターは、『ONE PIECE 先生応援プロジェクト』に登録し、許可を得て使用しているものです。

今日で1学期が終わりました。この1学期、保護者の皆様には学校の諸活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

1学期を振り返ってみて真っ先に思うことは、やはり、なんぶっこのすばらしさです。優しく素直、ルールを守り、礼儀正しい。授業にも一生懸命に取り組み、読書の量も大変多い。時には失敗もありますが、それも含めて、なんぶっこらしさだと思います。

なんぶっこが一日を過ごす南部小には、317人の子どもが通ってきます。学校では、子どもたちは学年、学級に分かれ、友達と共に学び、遊んでいます。「同年代の子と共に過ごすこと」それが学校と家庭の大きな違いであり、学校は単に、授業をする場所というだけではありません。人と一緒に過ごすこと、一緒に遊ぶこと、そして、人の喜びや悲しみを共有できること、一人より一緒の方が、心が豊かであることを学ぶ場所であることも、学校の大切な役割です。子どもだから失敗もあります。けんかもあるでしょうし、友達の言動に心が傷つくこともあるでしょう。でも、そのために私たち大人がいます。保護者の皆様も、地域の方も、私たち教職員も、誰もがなんぶっこ一人一人の成長と幸せを願っています。これからさまざまな場面でご協力いただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、明日からは夏休みです。学校から離れ、ご家庭で44日間を過ごします。ご家族、友だちと一緒に多くの経験をし、一回りも二回りも成長したなんぶっこに会えることを楽しみにしています。(校長)

<オンラインゲームでのトラブルについてのお願い>

近年、お子様たちの間でスマートフォンを用いたオンラインゲームが普及し、その中で発生するトラブルについて、学校にご相談いただくケースが増えてきました。特に、ゲーム内でのチャット機能などを介した友達との行き違いが原因で口論になったり、それがきっかけで学校生活にまで影響を及ぼしたりといった事例が見受けられました。

学校では、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、できる限りのサポートはさせていただきます。しかしながら、オンラインゲームは、ご家庭の管理下で行われる活動です。ゲーム中のチャットやメッセージのやり取りで生じたトラブルにつきましては、学校がその詳細を把握し、解決を図ることは非常に困難なのが現状です。

つきましては、長期休業に向けて、お子様がオンラインゲームをされる際は、下記の点について改めてご確認いただき、保護者の皆様の責任の下、適切な利用にご配慮いただきますようお願い申し上げます。



- ① 利用時間や利用内容の確認：お子様がどのようなゲームを、どのくらいの時間プレイしているか把握されていますか？
- ② チャット機能等利用時の注意点：ゲーム内のチャット機能などを用いて、誰とどのようなやり取りをしているか、お子様と話し合う機会を設けていますか？
- ③ トラブル発生時の対応：万が一トラブルが発生した場合、まずは、ご家庭で話し合い、解決に向けてお子様と一緒に考えるように促してください。

学校、家庭、地域が連携し、子どもたちが安全で健全な学校生活を送れるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

<児童代表のあいさつ>

2年 天木咲太郎さん 「がんばったてつぼう」

ぼくが、1学きの中で一ばんがんばったことは、てつぼうの足ぬきまわりというわざです。とくに足ぬきまわりのかえってくるところがむずかしかったです。はじめてやってみたときはできなくてかなしかったです。

でも、昼ほうかや大ほうかのじかんをつかって、いっぱい足ぬきまわりのれんしゅうをいきおいをつけてがんばりました。そして、ついにあしぬきまわりができるようになりました。はじめてできたときは、うれしくて、うれしくて、たまりませんでした。

これからも、「やればできる!」という気持ちをもって、つぎは高いてつぼうでやるさかあがりがんばりたいです。でもさかあがり足ぬきまわりといっしょでまだできません。なので、大ほうかやひるほうかにまたいっぱいれんしゅうして、さかあがりができるようにもっともってがんばりたいです。

4年 山下 悠己さん 「1学期の宝物」

1学期の宝物は、2つあります。

1つ目は、3年生よりもたくさん手をあげられるようになったことです。去年は、授業で3、4回しか手をあげられませんでした。けれど、4年生になってたくさん手をあげられるようになりました。とくに、国語の時間にたくさん手をあげました。また、分からないことがあったときは、

「この問題わからないんだけど・・・」

と手を挙げて友達に聞くこともできました。

「この問題はこうやってとくんだよ」

と分かりやすく教えてくれました。

2つ目は、高学年になり初めて美化委員会で働いたことです。最初に、ゴミの集め方を先生が教えてくれました。初めてゴミ集めをしたときはうまくできなかったけれどがんばりました。初めてのキャンペーンもやりました。ピカピカチェックはやってみたら楽しくワクワクが止まらなかったです。

2学期には、たくさん手を挙げられるようになったことをいかし、苦手な教科でもたくさん手を挙げたいです。

6年 竹内 結埜さん 「計画を立てることの大切さ」

私が1学期にがんばったことは、なかよし学級委員の仕事です。

なかよし学級委員は、ペア学級の子を朝会で並ばせたり、代表委員会に出たり、いろいろな仕事があります。その中でも一番がんばったのは、ペア活動です。なかよし学級委員が中心となって遊びを考えたり、ルールの説明や全体の進行をしたりしました。最初のペア活動では、先生に言われるまで活動があることを知らず、準備がギリギリになってしまいました。これではだめだと思い、次のペア活動では、いつあるのかを自分で確認し、早めに先生に声をかけて準備を進めました。当日はみんなが笑顔で楽しんでいて、前よりもよい活動になったと感じました。この経験から、事前に計画を立てて行動することの大切さを学びました。

2学期は、行事や係活動などでも、自分から動いたり、友だちと声をかけ合ったりしながら、自分もみんなも楽しく過ごせるようにがんばりたいです。

南部小学校 学校日記

<https://agui.schoolweb.ne.jp/2310259/weblog>

南部小学校「学校日記」

日々の学校の様子をブログで紹介しています。授業や行事をがんばる子ども達の様子をご覧ください。

